

平成25年11月定例会 総務委員会（事前）

平成25年11月26日（火）

〔委員会の概要 県民環境部関係〕

藤田元治委員長

休憩前に引き続き委員会を開きます。（16時02分）

これより県民環境部関係の調査を行います。

この際、県民環境部関係の11月定例会提出予定議案について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【提出予定議案】（資料①②）

- 議案第1号 平成25年度徳島県一般会計補正予算（第3号）
- 議案第19号 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷の指定管理者の指定について

【報告事項】

- 第2次徳島県環境基本計画（案）について（資料③④）

福井県民環境部長

それでは、お手元にお配りしております総務委員会説明資料によりまして、11月定例会県議会に提案を予定しております県民環境部の案件につきまして、御説明を申し上げます。

今回御審議いただきます案件は、平成25年度一般会計補正予算（案）およびその他の議案等といたしまして、指定管理者の指定についてでございます。

説明資料の1ページをお開きください。

一般会計歳入歳出予算についてでございます。

補正総額につきましては、総括表の欄の一番下の計欄左から2番目に記載のとおり、100万円の増額をお願いいたしております。補正後の予算総額は、その右の欄のとおり、58億5,244万4,000円となります。

補正額の財源内訳につきましては、括弧内に記載のとおりでございます。

2ページをお開きください。

補正予算の、課別の主要事項でございます。

県民スポーツ課につきまして、計画調査費の摘要欄①のア新規事業、関西ワールドマスターズゲームズ2021開催準備費として100万円を計上しております。これは、ワールドマスターズゲームズ2021関西大会に関する準備委員会の負担金でございます。

9月付託委員会においても、御報告させていただきましたように、9月27日に準備委員会より開催の正式申入を行ってございましたところ、11月7日から国際マスターズゲームズ協会の査察が実施され、11月10日に基本合意書の調印式が行われ、2021年大会の関西での開催が決定されたところであります。今後、関西広域連合を構成する府県及び政令市、経

済団体、体育協会の長による準備委員会において詳細を検討することとなり、開催に向けた諸費用の本年度の本県負担分として計上いたしております。

本県におきましても、このチャンスを最大限に生かすべく、県内スポーツ団体や経済団体などで構成する県内準備委員会を立ち上げ、8年後の開催に向け官民一体となって開催計画の策定に積極的に参画できるよう努めてまいりたいと考えております。

県民スポーツ課の補正後の予算総額は、5億3,183万5,000円となります。

3ページを御覧ください。

債務負担行為についてでございます。

とくしま文化振興課所管の徳島県立阿波十郎兵衛屋敷の管理運営協定につきまして、平成26年度から平成28年度にかけまして、8,522万4,000円の債務負担行為限度額の設定をお願いするものでございます。

4ページをお開きください。

続きまして、その他の議案等の指定管理者の指定についてでございます。

先ほどご説明いたしました徳島県立阿波十郎兵衛屋敷の管理運営協定について、この施設における指定管理者の指定の議決をお願いするものでございます。

施設の指定管理者として、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷管理運営業務参加グループを平成26年4月1日から平成29年3月31日までの3か年間指定しようとするものでございます。

なお、お手元に御配付しております、資料1指定管理候補者の選定結果について選定理由等を記載しておりますので御参照ください。

以上が、今議会に提出を予定いたしております案件でございます。

続きまして1点御報告させていただきます。

お手元の資料2、第2次徳島県環境基本計画（案）の概要を御覧ください。

この計画（案）は、先の9月県議会におきまして、中間とりまとめとして御報告させていただいたところであり、その後県民の皆さま方からの御意見をお聴きするためパブリックコメントを実施し、先般、環境審議会環境政策部会において御審議いただき、お手元にお配りしております別添資料3のとおり答申（案）として御報告させていただくものでございます。

資料2にお戻りいただき、1ページの計画の概要でございますが、3計画期間としましては、2025年頃を展望しつつ、平成26年度から平成30年度までの5年間としております。

2ページをお開きください。

計画の基本コンセプトでございます。

5年間の取組の基本コンセプトとして、徳島からの環境イノベーションを掲げ、1から4のとおりの方針を設定するとともに、各分野別計画の目標もとりまとめて総合的な進捗管理を行ってまいりたいと考えております。

3ページから4ページにかけましては、5年間の取組目標でございます。目標1から目標6の六つの目標達成に向けて取組を推進するものでございます。

5ページ以降では、具体的な取組として、「1スマート社会とくしま」をはじめ、7つ

の柱を設定し、○（しろまる）で記載のとおり、47の重点取組を展開していくものであります。今後は県議会で御論議いただいた後、本年12月までに計画を決定してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

報告事項は以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願いいたします。

藤田元治委員長

以上で説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

木南委員

補正額が100万円とありますが、説明資料によるとワールドマスターズゲームズ2021の準備費だということですが、もう少し詳しく説明していただけますか。

近藤県民スポーツ課長

今回お願いをしております補正予算100万円の中身についての御質問でございます。冒頭、部長から説明をさせていただきましたように、去る11月10日にこの大会の2021年関西での開催が決定したところでございます。これまで、関西広域連合を中心として、この国際大会の招致を目指して活動を続けてきたところでありますが、9月26日に関西広域連合を主体として、そこに関西の経済団体、それから県のそれぞれ体育協会、そういう官民で構成をする準備委員会組織を立ち上げまして、そちらで活動を続けております。

本年度の活動の経費の内訳といたしましては、主なものは11月7日から受け入れをいたしました国際マスターズゲームズ協会の査察の受入経費でございます。それから、何回か会議を開催しておりますので、その会議の開催経費でありますとか、職員の旅費、それからホームページの開設も予定しているということで、総額で1,100万円ほど、それを官民で分担することとしておりまして、本県分の負担が100万円ということになっております。以上でございます。

木南委員

先ほど、経営戦略部関係の委員会で同じ質問をしたところ、財政課長から、関西広域連合に対する負担金というような説明があったんですが。

近藤県民スポーツ課長

元々は関西広域連合で検討していましたが、この100万円を支出する先は、関西広域連合と経済団体、体育協会が構成をする関西広域連合ではない別の組織の準備委員会に対する負担金でございます。以上です。

木南委員

これは徳島県がするん、徳島県がする会議なの。

近藤県民スポーツ課長

その準備委員会の組織の構成を詳しく申し上げますと、関西広域連合を構成しております府県、政令市、そこから大阪府と大阪市は除いておりますけれども、構成府縣市、それに関西経済連合会、関西経済同友会、政令市の商工会議所、あとそれぞれの関係する体育協会が構成団体になっておりまして、関西広域連合もその構成メンバーにはなっておりますけれども、徳島県が主催しているのではなくて、関西の主だった府縣市で共同して誘致活動をしてきたというところでございます。以上です。

木南委員

わかりました。結局は、県が独自に作った準備会というか徳島県がどうするという会じゃなくて、関西広域連合を中心とした会に徳島県から100万円出して、人も出しますよと。人は出さないの。

（「今のところ人は」と言う者あり）

人は出さない、お金だけ出しますよと。こういうことやね。これを宝の島・徳島への実現へ分類した意味はどういうことなんですか。

近藤県民スポーツ課長

11月補正予算の分類の位置のことかと思います。ポンチ絵でどこに整理をするかということで、スポーツを通じた地域経済の活性化を狙いとした国際大会の誘致ということで、宝の島・徳島というところに位置付けられたと考えております。

木南委員

うん、多分これは課長が作ったんでなしに財政課が作ったんだろうと思います。本来は負担金、分担金でしょ。これはちょっと不自然だなあという気持ちだけを伝えて私からの質問は終わります。

森本委員

1点だけ、指定管理の指定が出ていますけれども、申請してきたのは1団体だけで、もうほとんど随意契約に近い形で取りました。私も文書質問で指定管理が既得権益化しているということを1度質問をしたことがございます。その時は、競争性のない中で、より厳しくいい所を選ぶ努力をしますというような回答をいただいたんですけどもね。これは想定上限基準額、括弧して管理料との対比、これと提案額、これが同額になっていきますよね、3年度全部。これはどういうことですか。同額を提案してきたわけですか。

町田とくしま文化振興課長

募集にあたりまして、想定の上限基準額を示させていただいて、今回、それと同額の申請がありました。

森本委員

これを見ておかしいなあと思ったんだけど、部長も含めて、5人から誰もそんな意見は出ないわけですか。選考委員には民間の人も入っていますけど、誰からも意見が出なかったんですか。

町田とくしま文化振興課長

阿波十郎兵衛屋敷につきましては、既に過去に2回ほど公募を行っておりまして、具体的な年数から申し上げますと、平成19年度と平成22年度でございます、この2回の公募におきまして、第1回目の公募のときにおきましては、平成18年度の比率で8.7%の指定管理料の減額、そして前回平成22年度の公募におきましては、運営管理費の5%を縮減をしております、平成18年度対比にいたしますとトータルで15%削減を図っております、過去2回ほど公募を行ったところ、大体おおむね必要経費というのが分かってきたところでございます、今回につきましては減額という措置はせずに、想定基準上限額を示させていただいて、その同額の申請があったところでございます。

森本委員

こういう文化施設だから皆さん黙ってますけど、例えば県土整備部でどっかの舗装やトンネルや橋が入札に出て、1社だけで最低制限額と同額でしたって、そんなんで話が通じるわけないだろうが。こういう選定委員会の委員というのは、何も感じんのかなと思う。10円でも100円でも安くならんのですかと。ぴったり出して、こんなもん県民に説明つかないじゃない。段階を追って安くなってきましたとか、そんなもん当たり前だよ。そのための指定管理やからね。こういうことを平気でやって、選定委員会がありながら、ああそうですかって。本当に民間の委員さんからも御意見は出ないんですか。こんなんで。

町田とくしま文化振興課長

選考委員会を開催したところでございますけれども、阿波十郎兵衛屋敷の現在の経営状況は、とんとんか、もしくはかなりきつい状況での運営という報告が上がっております。その中で新たな指定管理者として候補者のあったところにつきましては、国における補助金であるとか、助成金とかの獲得に努め、今後、住民サービスの向上を図るという提案がございましたので、今回選定させていただいたところでございます。

森本委員

他で儲けているところも入ってますよ。十郎兵衛がとんとんですったって、そんなものは特に説得力はないんで。ぴたっと同額を申請することに対して、誰も何も言わなかったかということを知っているんです。言わなかったのなら言わなかったでいいです。ああそういうもんかなと思いますから。

藤田元治委員長

小休します。（16時20分）

藤田元治委員長

再開いたします。（16時22分）

町田とくしま文化振興課長

審査会での委員さんからの発言についてでございますけれども、委員さんからは平成24年度の事業報告につきまして質問がございまして、24年度におきます指定管理料の収入であったり、県からの委託料の収入、そして入場料収入の内訳、それから雑収入の内訳等について質問がございまして、その質問に対してお答えしたところですね、やはり想定している基準額のぎりぎりの線で運営できているという状況がわかりましたので、各委員さんからは、もう少し削減しろという御意見はなかったところでございます。

森本委員

これもう決まってもたからしょうがないけど、競争性、例えば3団体でも入ったたらこんなことになるわけがない。競争するんやからね。競争入札であって、指定管理もこれは競争入札で一緒やから、随意契約にならざるを得んような状況になってきとるけども、やっぱりそこはもう少し工夫するなり、きちっと対応せんと、もうこれは完全になれ合いそのものじゃないですか。そんなことでは、私と同じ疑問を抱かんような民間委員やったら全部変えたほうがいいわ。いまさら言ってもしょうがない、いまさら。今後の課題にしていただきたいなと思います。

藤田元治委員長

部長、何かないですか。

福井県民環境部長

ただいま森本委員さんの御提言のとおり、私どもも阿波十郎兵衛屋敷という徳島県の財産、文化というのも大切に運営をし、また高速料金の均一化ということで県外のお客様にとって非常に魅力ある施設として運用していただきたいということで、募集期間も2か月という非常に長期にわたりましたけれども、残念ながらこの参加グループ1社であったということでございます。

今後につきましても、経費の節減、それから運用の適正化、こういったものについても適正にチェックをし、検証してまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大西委員

前回の委員会で、県立中央武道館の質問をさせていただきました。その質問に対し、担当局長、課長の答えは、現時点では分かりませんというような話だったものですから、ちゃんと調査をしてもらいたいと言っておきました。もう時間がないから、別に今御答弁くださいと言っているわけじゃありませんが、今日も午前中、委員会が遅れた理由が、議会軽視という話でした。調査をしてその結果が出ているんなら、ちゃんと報告をしてもらうことが必要なんじゃないかなと思いますけどね。

私の質問はわかっていると思うんですけど、県立中央武道館は、土日祝日は、ほとんど団体の方が使っているが、平日の使用というのはどうなっているんですか。インターネットで見ても平日は全然使用されていませんよと。そしたら、それはわかりません、調べますという答えをしてたんですけど、調べられましたかね。その結果、詳細な分析をした上で、こちらに御回答いただくことが必要だと思うんですけども、近藤課長さんは風邪を引いて苦しそうなんで、御答弁は原内局長にさせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

原内文化スポーツ立県局長

調査をさせていただきました。中央武道館につきまして、これは平成24年10月から25年9月までの1年間なんですけども、1年間のうち平日も入れまして、柔道場が開館日の94.4%、剣道場は97.7%、弓道場につきましては100%の利用があったということでお聞きしております。

藤田元治委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、県民環境部関係の調査を終わります。

これをもって、総務委員会を閉会いたします。（16時28分）